上記右は芭蕉元禄大垣イルミネーション実行委員長賞を受賞した**岐阜県立大垣西高等学校生徒会の作品**

幻想的な光の世界を織りなす

『芭蕉元禄大垣イルミネーション』

- 大垣市の街中を光で彩る「芭蕉元禄大垣イルミネーション」が、市内の各地で輝き、本格的な冬の到来を告げている。11月29日（土）、大垣公園芝生広場（同市郭町）などで点灯が始まり、市民らが手作りした無数の発光ダイオード（ＬＥＤ）の鮮やかな光が華やいだ空間を演出し、訪れた来場者を魅了している。

実行委員会の主催で、中心市街地の活性化とまちなかの賑わいを図るため、大垣駅から大垣公園、奥の細道むすびの地記念館までの区間にイルミネーションが装飾され、点灯は午後5時から同9時で、12月25日（木）まで楽しめる。

大垣公園では、市民団体や中学、高校、企業などが出展した44点の作品が展示され、メタセコイアの大きなツリーがシンボル的にそびえ立ち、奥の細道むすびの地記念館前の水門川では舟に乗った動物たちや水をイメージしたモニュメントなど、水都‘おおがき’を彷彿させる作品が展示されている。

幻想的な水面を照らす「動物の星」・水門川

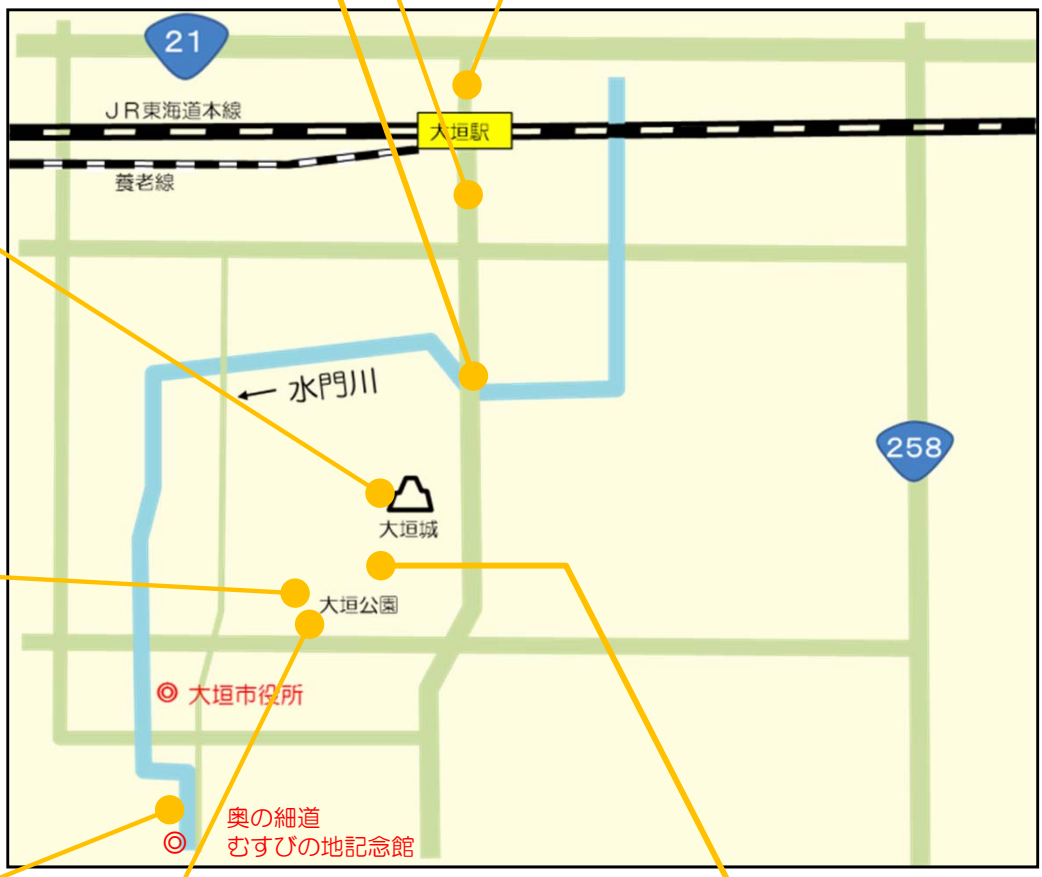
水門川新大橋

大垣駅南口広場

大垣駅北口広場

大垣城のライトアップ

大垣公園（市民手作りイルミネーション作品）



奥の細道むすびの地記念館

上記中は大垣市長賞を受賞した、ふるさと大垣案内の会の作品